

Gベース T型・ 水路兼用型



特長

・子供に優しいユニバーサルデザイン

歩道が無い道路において、歩行者が路側帯を通行することがあります。従来のプレキャストガードレール基礎では天板が付いていなかったため、ガードレールの下に大きな隙間が出来、身長の子供が足を踏み外すという危険がありました。(図1)

図1 従来



そこで、「Gベース T型」では天板を付けることによってガードレールの下隙間をなくし、完全に段差を解消しました。(図2)

道幅の狭い歩道、暗い夜道など危険の多い場所でも、いつでも安心して歩行できる、全ての人に優しいデザインです。

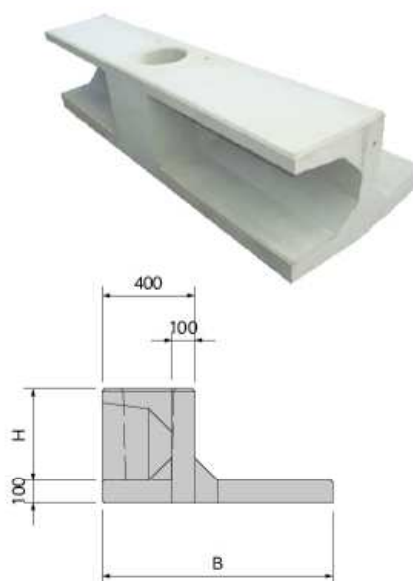
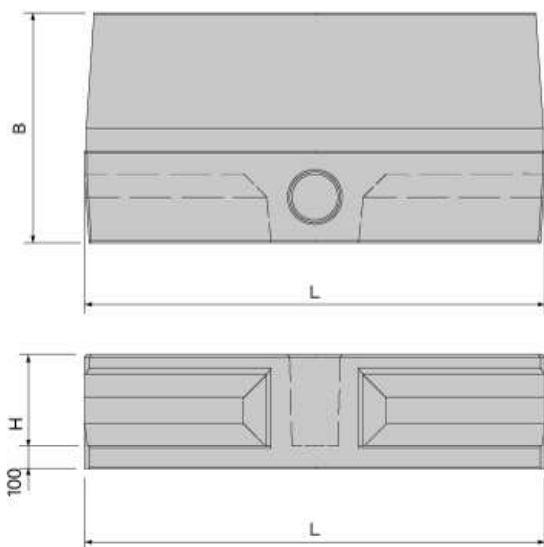
「Gベース T型」は、従来のGベースの品質・安全性・施工性・価格はそのままに、さらに歩行者の安全に配慮した製品です。

施工例

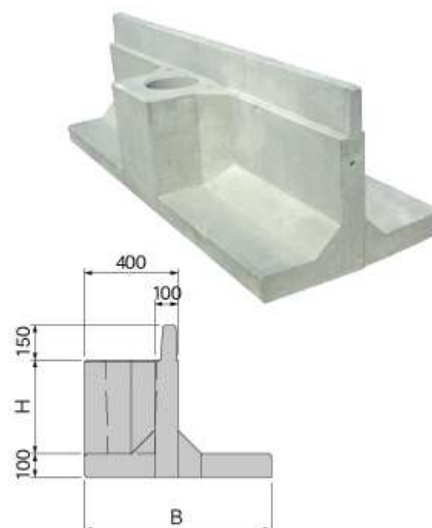
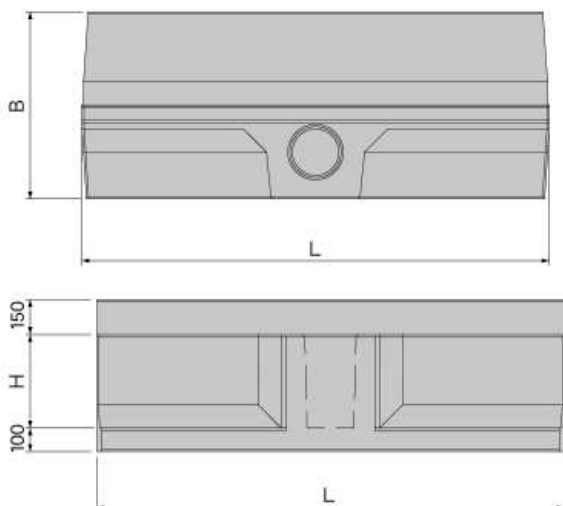


単体図

● GベースT型



● Gベース水路兼用型



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)			防護柵の種類
			H	B	L	
GBTI 400× 800×2000 (天板付)	808		400	800	2000	B, C種
GBTI 400×1000×2000 (天板付)	903		400	1000	2000	
GBTI 400×1500×2000 (天板付)	1123		400	1500	2000	
GBI 400× 800×2000 (水路兼用型)	744		400	800	2000	
GBI 400×1000×2000 (水路兼用型)	839		400	1000	2000	
GBI 400×1500×2000 (水路兼用型)	1059		400	1500	2000	

※使用規格はGベース規格に準じます。

参考歩掛表

10m当り

Gベース (個)	世話役 (人)	ブロック工 (人)	普通作業員 (人)	クレーン4.9t (日)	諸雑費 (%)
5.00	0.15	0.15	0.45	0.15	16.00